



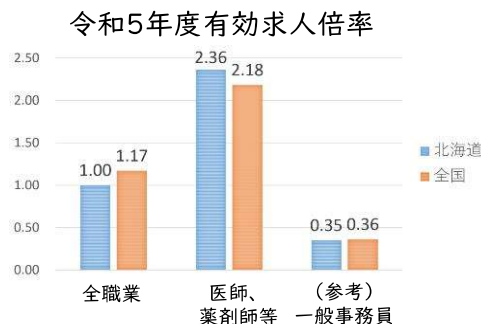
# 小 売 業

## (医薬品・化粧品小売業)



小売業とは、各種商品を消費者に販売する仕事で、スーパーやアパレルショップ、自動車販売店のほか、薬局などがこれに含まれます。日高管内には、小売業事業所数が653あり、そのうちの45が医薬品・化粧品小売業となっています。

医師、薬剤師等の従事先には地域偏在が生じています。北海道の求人倍率は全国の数値を上回っており、地域医療を支える人材として地元から求められています。



出典：北海道労働局『Labor Letter R 5年度版』

## 株式会社 なの花北海道 (なの花薬局)



インタビュー  
ブロック長  
兼 薬局長  
(静内青柳店)

三浦 圭太さん (36)

勤続：12年目  
出身：オホーツク管内斜里町  
趣味：キャンプ



薬剤師になろうと思ったのはどうしてですか？

進路を決めたのは高校2年の頃です。姉が医療系の学校に進学していた影響で、自分もその分野に興味があったため、指定校推薦があった大学の薬学部に進学しました。



どうしてこの会社を選んだのですか？

就職先を決めたのは、大学で開催された企業説明会です。そこで声をかけてくれたOBがなの花薬局の職員でした。その後、職場見学として新ひだか町の店舗を訪れて働いている方の人柄を見たときに、自分がこの場所で働く想像ができたので、就職を決めました。



入社後はどんな仕事をしますか？

入社後は全国から集まった同期と新人研修を受けた後、各店舗に配属され、調剤や服薬指導など実際の業務に従事します。大学で学んだ薬の名前と店舗で扱う薬剤の名称が異なることがあり、知識の突き合わせ作業が必要になるため、先輩職員に教わりながら仕事をします。



日高で働いてみて良かったことはありますか？

就職先を決める段階から、都市部より地方の医療に貢献したいという気持ちを持っていました。12年間新ひだか町で生活していますが、町の規模感がほどよく、住民の方も落ち着いた方が多いと感じています。



## 三浦さん的一天

9:00~ 出勤  
・調剤  
・服薬指導  
12:00~ 昼休み  
13:00~ ・在宅訪問  
・医薬品の発注  
18:00 勤務終了



### 仕事から学んだこと教えてください。

コミュニケーションの重要性です。患者さんを支えるためにはチームワークがとても大切ですが、店舗内には薬剤師と医療事務という立場が違う職員がおり、薬局外では病院や介護施設の職員が関係者として働いています。それぞれの役割を尊重した上で、密に連携し、患者さんに接することが大切だと感じています。また、地域の方々から気軽に相談される間柄を構築することが仕事のやりがいにも繋がります。



### 会社の雰囲気や職場環境について教えてください。

店舗には薬剤師6名、事務スタッフ6名が勤務しており、女性スタッフの割合が高いです。年々若いスタッフが増えてきており、堅苦しい雰囲気はありません。勤務形態は週休二日のシフト制ですが、子育てをしている職員は時短勤務も可能となっており、夏季休暇等の休暇制度もあります。



### 薬剤師を考えている高校生へのメッセージを。

薬剤師は医療の進歩に合わせて一生勉強が必要な職業です。向上心がなければ続かない仕事だと思いますので、覚悟を決めて進路を選択してほしいです。その上で、まずは大学進学、資格取得に向けて勉強を頑張ってくださいと思います。



## 会社の方から 道南エリア事業部 事業部長

## 下出 正人さん

勤続：23年目  
出身：苫小牧市  
趣味：食べ歩き

なの花北海道は北海道の調剤薬局で一番のシェアを誇る会社です。企業理念として“良質な医療インフラを創造し生涯を見守る「まちのあかり」として健やかな暮らしに貢献する”を掲げ、地元医療の拠点になることを目標にしています。日高地域でも毎年、健康フェアを開催しており、地域の方に向けて職業体験会や脳年齢・骨密度を測定するイベントを実施しています。

薬局に求められる役割は年々変わってきていると感じます。薬剤師、医療事務ともにコミュニケーション能力が必要で、患者さんとの信頼関係を築くことが求められています。医療事務は高卒の方も募集していますので、新しいことにチャレンジできる方であれば、どんな方でも活躍できると思います。

## 株式会社 なの花北海道

[所在地] 札幌市中央区北10条西24丁目3番地 AKKビル3階

[電話] 011-613-7774

[事業内容] 保険調剤薬局業務

[設立] 1989年 [従業員数] 1,099名

[HP] <https://www.nanohana-ph.jp/>

HP





# 医療業



日高管内の医療施設は、病院数7、一般診療所数41となっており、人口10万人あたりの数は全道平均を超えています。一方、病床率は全道平均を下回っているほか、入院患者の圏域内自給率が22.7%と、患者の約8割が日高管外で治療を受けている状況となっており、地域医療の維持・充実が求められています。

○人口10万人あたりの医療施設数

	病院	一般診療所
日高	11.7	68.4
全道	10.5	67.4

出典：令和4年北海道保健統計年報『第80表 医療施設数および率（人口10万対）』

医療業では、医師や看護師など直接患者さんと関わる職種のほか、それらをサポートする医療事務や診療放射線技師、臨床検査技師など多様な職種で活躍できます。

## 医療法人徳洲会 日高徳洲会病院



### インタビュー

医療事務課 小田島 涼香さん (26)

勤続：4年目

出身：新ひだか町（静内高校卒）

趣味：編み物



どんな仕事をしているのですか？

入社直後は窓口と保険請求を担当し、診察の受付や会計等の仕事をしていました。コミュニケーションの機会が多く、イメージしていた事務職とはギャップがあったため、最初は苦手意識がありましたが、徐々に慣れてきて、人と接することも平気になりました。現在は医師事務を担当し、医師に代わって、カルテや診断書の入力代行業務をしています。



どうして医療事務の仕事を選んだのですか？

進路指導の先生から事務職を勧められたこともあり、業界を問わず事務職の仕事を探していました。給与等の待遇や地元企業であること、医療関係に興味があったことなどから当院への就職を決めました。



医療系の専門学校に行かなくても就職できますか？

医療事務には特別な資格は不要なので、高校を卒業してすぐに就職しても活躍できると思います。ただ、医師事務の仕事をするに当たって、研修を受講する必要があります。医療従事者全般に言えることですが、学ぶ意欲やコミュニケーションが大切だと思っています。私も、患者さんへの気配りや声かけを通して、苦手だったコミュニケーションが身につきました。



## 小田島さんの一日

- 8:30～ 出勤
  - ・診察時、医師のサポート
- 12:00～ 昼休み
- 13:00～
  - ・カルテ、診断書入力代行
  - ・老人ホームへの訪問
- 17:00 勤務終了



### 職場について教えてください。

医療事務課の男女比は、女性8割、男性2割で、30代の職員が多いです。勤務形態はシフト制で、休日は毎月変動しますが、感染症が流行して繁忙期となる冬場でも、残業はほとんどありません。



### 仕事のやりがい、魅力を教えてください。

医師事務は医師のサポート業務がメインになります。間接的ではありますが、患者さんのために仕事ができているという実感があり、やりがいに繋がっています。



### 地元で働く魅力は何ですか？

小さい子供がいるので、近くに住む親族の協力を得られることにメリットを感じています。逆にこちらも駆けつけやすいので、不安が少ないと思います。



### 医療事務を考えている高校生へのメッセージを。

病院は全国にあるので、手に職をつけることは、将来を考えてもいい選択肢だと考えています。病気に関する不安は医師の先生が相談に乗っていますが、些細な悩みや不安を取り除くのは事務や窓口の人だと思います。思いやりの心を持ち、人の支えになれるように頑張ってください。



## 会社の方から

### 総務課 不動 和也さん

勤続：21年目  
出身：新ひだか町  
趣味：スポーツ観戦

当院は13の診療科、199の病床がある日高地域最大の病院で、地域に根ざして地元住民に必要な医療を提供しています。また、地元中学生の職業体験を受け入れており、看護職や放射線技師の仕事内容を紹介するなど地域活動にも協力しています。

当院は徳洲会グループに属しており、グループ全体では約80の病院があるため、ライフステージに応じて全国に異動が可能です。

人と関わりたい気持ちや相手を優先できることが重要です。必要な知識は後から学べば大丈夫ですので、思いやりの心がある方の応募をお待ちしています。

## 医療法人徳洲会 日高徳洲会病院

[所在地] 日高郡新ひだか町静内こうせい町1丁目10番27号  
[電話] 0146-42-0701  
[事業内容] 医療業  
[設立] 1990年 [従業員数] 269名  
[HP] <https://hidakatokushukai.com/>

